

研究課題名	<p>腹部大動脈瘤に対して AFX2 スtentグラフトで治療を行った症例の3D を用いた中枢側neck角度の計測とその有用性の検討</p> <p>CELERY (EffeCtivEness of 3D angLE assessment for aorRtic neck angulation in patients with abdominal aortic aneurYsm undergoing AFX2 endografting) study</p>
研究期間	2024年12月2日 ~ 2029年12月31日
研究の対象	2017年1月~2023年12月の間に広島大学病院心臓血管外科または共同研究機関で腹部大動脈瘤に対して AFX2 システムを用いてstentグラフトによる治療を受けられた方
研究の目的・方法	<p>研究目的：腹部大動脈瘤に対するstentグラフト治療はその低侵襲性から第一選択とされるようになりました。stentグラフト治療に使用されるデバイスは多種ありますが、AFX2 システムは2017年から利用され、中枢neckの形態によって大動脈壁とstentグラフトの隙間から瘤内に血液が流入し、瘤径が拡大する症例も散見されます。通常neckの形態は2D（平面）にて評価されますが、実際には3D（立体）です。3D画像を用いたneckの形態評価については十分な検討は行われておらず、その有用性について今回検討させていただきます。</p> <p>研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、AFX2を用いたstentグラフト治療の遠隔成績（生存、大動脈瘤径、エンドリークの有無、migrationの有無、再治療の有無）について検討します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、画像検査結果、カテーテル検査所見、術後情報、遠隔期情報等
外部への試料・情報の提供	NTT のデータ送信システムを使用して、ファイルメーカー形式のデータを、広島大学と共同研究施設において、WEB システム上で共有するため、外部への資料提供を行います。パスワードロックを使用し、特定の関係者以外がアクセスできない状態でシステムを用いて行います。データは広島大学病院および共同研究機関で共有し、解析を行います。
利用または提供を開始する予定日	2024年12月2日
個人情報の保護	情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか

	分からないよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	<p>研究代表者  広島大学大学院医系科学研究科 外科学 教授 高橋 信也</p> <p>本院の研究責任者  広島大学大学院医系科学研究科 外科学 教授 高橋 信也</p> <p>研究機関の長  広島大学理事 田中純子</p> <p>共同研究機関  独立行政法人国立病院機構呉医療センター中国がんセンター  心臓血管外科 平岡俊文  広島県厚生農業協同組合連合会広島総合病院 心臓血管外科  主任部長 小林平  医療法人あかね会土谷総合病院 心臓血管外科  医長 前田和樹  県立広島病院 心臓血管外科  部長 児玉裕司  独立行政法人国立病院機構東広島医療センター 心臓血管外科  江村尚悟  広島市立北部医療センター安佐市民病院 心臓血管外科  部長 荒川三和  医療法人財団竹政会福山循環器病院 心臓血管外科  病棟医長 二神大介  広島県厚生農業協同組合連合会尾道総合病院 心臓血管外科  主任部長 佐藤克敏</p>
その他	なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれま

せん。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学大学院医系科学研究科外科学

高橋 信也

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

TEL : 082-257-5215

FAX : 082-257-5219